

がん化学療法処方

プロトコール名:ホジキンリンパ腫 A+AVD療法(1クール28日)
(下に実際の投与方法を記載)

投与日	薬品名	投与経路	投与時間
d1, 15	① パロノセトロン静注0.75mg+デキサート注射液9.9mg+生理食塩液50mL	div	15分
	② ドキソルビシン塩酸塩注射用 25mg/m ² +生理食塩液100mL	div	30分
	③ エクザール注 6mg/m ² +生理食塩液50mL 上限10mg	div	15分
	④ ダカルバジン注用 375mg/m ² +生理食塩液100mL 要遮光	div	30分
	⑤ 生理食塩液 50mL(フラッシュ用)	div	5分
	⑥ アドセトリス点滴静注用 1.2mg/kg+生理食塩液100mL 1バイアル当たり10.5mLの注射用水で溶解。 溶解後の濃度は5mg/mL。 溶解した必要量を最終濃度0.4~1.2mg/mLとなるように調製する。	div	30分
	⑦ 生理食塩液 50mL(フラッシュ用)	div	5分

d1, 15 アプレピタントカプセル 125mg
抗がん薬投与の1時間~1時間半前に内服 p.o.

プロトコール適応時表示コメント

day2,3およびday16,17にアプレピタント80mg/日内服。アドセトリスは最大12回まで。

照射併用時照射線量

グレイ(備考欄)